

台風により倒壊した灯台が約1年半ぶりに復旧



復旧した浦分港防波堤灯台



揮毫された書体で作成した銘板

令和元年10月の台風19号による強風と高波で倒壊し、仮灯で運用していた高知県高岡郡四万十町所在の浦分港防波堤灯台が令和3年4月19日、約1年半ぶりに復旧（建替え）しました。また、新しい灯台の銘板には、この春で閉校した四万十町立興津中学校の生徒に揮毫（きごう）を依頼するなど、地元の方々の協力を得て、新しい灯台に命が灯されました。